

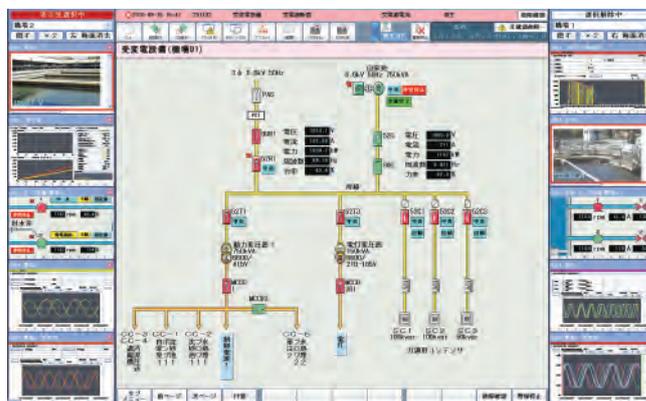
メイスビー

明電舎が小・中規模監視制御設備向けの MEISVY VS シリーズにも SL-GMS を適用 SL 社の Microsoft .NET ベースの GUI とエディタ技術を組み込み提供

2010年9月3日 プレス・リリースより:

SL ジャパンは、環境エンジニアリングとソリューション技術の提供で 110 年以上の伝統を誇る株式会社明電舎が、その小・中規模監視制御システム (DCS) 製品である「MEISVY VS シリーズ」の新版に、米 SL 社が開発した SL-GMS Developer for .NET ならびに SL-GMS Custom Editor for .NET 製品を採用したことを発表しました。これによって、2007 年以降明電舎の中・大規模監視制御設備向けの MEISVY OPS5000 シリーズに組み込まれてきた SL-GMS の適用製品ラインが拡張されました。

水処理、電力、電鉄、道路などの社会インフラを長年支えてきた明電舎は、上下水道事業における設備メーカーとして、日本全国に数多くの実績があります。設備納入だけに留まらず、設計・製造・設備運営・維持管理をトータルで行い、水そのものを取り扱う「水・環境事業」を展開しています。そして、水処理プラントの設計・製造から導入後の運営・維持管理までをトータルでサポートしてきた経験と実績から、さまざまな監視制御システムを開発されてきました。



SL-GMS Developer と Custom Editor for .NET は、次世代を担う最新の監視制御システムとして明電舎が開発した「マルチモニタ対応型高機能監視制御装置 MEISVY OPS5000」で使われてきましたが、今回さらに、小・中規模監視制御設備向けの MEISVY VS シリーズの効果的なオペレーション画面とその専用カスタム・エディタとして組み込まれました。MEISVY VS シリーズ新版では、多数箇所の場外設備を統合監視やフル HD モニタに対応、維持管理機能や水運用支援機能など最新のオプション機能も豊富にあり、現場での効率的な監視操作を実現し、1台のコンピュータで監視制御から維持管理までをサポートしています。さらに、Microsoft .NET 技術を駆使し、監視制御装置の機能を Web サーバで遠隔地に配信できるため、ブラウザによる監視や異常発生時のメール通報機能など、現場に縛られない監視が可能です。

SL-GMS Developer for .NET は、DCS/SCADA をはじめとする世界のミッション・クリティカルなリアルタイム監視制御システムで活用されてきた SL 社のダイナミック GUI 技術を、Microsoft .NET フレームワークにおけるコンテンツリッチで高速な画面の迅速な開発に特化したものです。そして、SL-GMS Custom Editor for .NET によって、プログラミング知識がない現場でも、動的振る舞いを持った画面を簡単に編集してデータに接続できる MEISVY VS 固有のカスタム・エディタが開発され、設備変更による画面更新の保守コスト削減を可能にしました。また本システムでは、フル HD モニタを活用し、操作メニュー、グラフィック統計図、履歴トレンド、状態変化のメッセージ・リスト、警報サマリなどの豊富な機能画面を最大 11 画面まで重なりあうことなく表示できるため、トレンドグラフを見ながらグラフィック画面で入力制御するといった高い操作性を可能にしています。(上図参照)

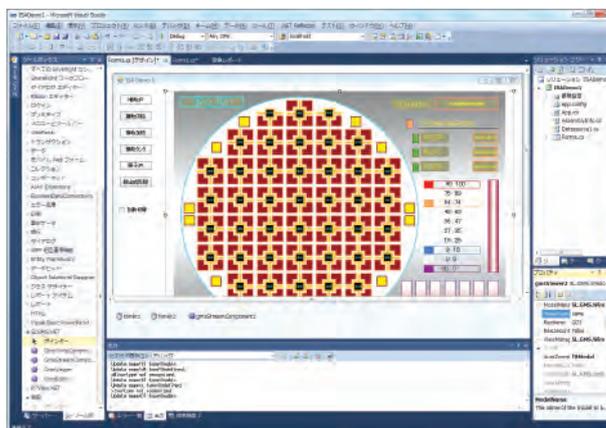
Visual Studio 2010 対応の SL-GMS Developer & Custom Editor for .NET 最新版をリリース Microsoft .NET 環境における監視制御システムの開発を支援強化

2010年7月6日 プレス・リリースより:

SL ジャパンは、Microsoft Visual Studio 2010 ならびに .NET Framework 4.0 に対応した SL-GMS Developer for .NET ならびに Custom Editor for .NET 製品の最新バージョン 3.3a をリリースしたことを発表しました。

SL-GMS Developer & Custom Editor for .NET は、Microsoft .NET Framework における Visual Studio を使った、リアルタイム・アプリケーションのダイナミック GUI と固有のカスタム・エディタの開発を専門とするツールです。近年 .NET に移行している監視制御システムの開発を強力にサポートし、プロセス制御、エネルギー、鉄道・空港設備監視などの分野で、DCS (分散制御システム) / SCADA 製品やソリューションに組み込まれて再販されています。

今回リリースした最新版で、Visual Studio 2010 を使ったデモ・ビデオ (Windows Media Player 11) は、SL ジャパンのホームページでご覧いただくことが可能です：
<http://www.sl-j.co.jp/demovideo/dotnet/vs2010/vs2010.html>



パフォーマンスを強化、「SL RTView」用アダプタの提供により、情報の可視化を簡単かつ高速に支援

2010年7月21日 — サイバース株式会社 発表・リリースより:

サイバース株式会社は、金融市場向けのリアルタイム・データ分析エンジンの最新版「Sybase CEP (サイバース・シーイーピー) R4」を、提供開始することを発表しました。

「Sybase CEP (Complex Event Processing: 複合イベント処理)」は、金融市場向けのリアルタイム・データ分析エンジンです。データ処理の遅延を最小化し、スループットを最大化するための設計がなされており、ビジネス条件や競合他社の戦略の変化に迅速に対応することが可能です。重要な意思決定に必要なデータだけを検索して見ることができる意思決定者向けのリアルタイム調整機能や、容易な拡張性と既存システムとの統合機能など開発者向けの機能により、リアルタイム・データ分析アプリケーションの迅速な導入を実現します。

最新版の「Sybase CEP R4」では、ランタイムでの性能が強化され、データ処理の遅延がさらに少なくなったほか、分析機能が強化されました。また、SL Corporationの情報可視化ツール「RTView」に対応したアダプタを新たに提供することで、プログラミングなしでリアルタイム・データの可視化と監視が可能となり、現場での迅速な意思決定が実現できるようになりました。サイバースは、ウォールストリートを中心としたワールドワイドな金融市場における豊富な実績をもとに、最新の「Sybase CEP R4」を活用した金融サービスの提供を支援していきます。

□ プレス・リリースの詳細: <http://www.sybase.jp/detail?id=1080820>

“

大量のストリーミング・データを高速に処理する Sybase CEP とダイレクトに接続できる RTView は、インメモリでデータをリアルタイムに集約してグラフィックに表示することができ、Sybase CEP ユーザにインフラやアプリケーション監視からビジネス・アクティビティ監視までの幅広い可視性を提供します。

”

株式会社SLジャパン
代表取締役社長
羽島 良重

SL 社、大規模 Oracle Coherence クラスタの監視オーバーヘッドを3分の1に削減

RTView® for APM | Oracle® Coherence モニタが JMX MBean の収集を劇的に加速

2010年7月21日 — 米国コルテ・マデラ市 発表・リリースより:

リアルタイム・データの可視化・分析・監視ソフトウェアの提供でリードする SL 社は、RTView® for APM | Oracle® Coherence モニタに大規模および超大規模な Oracle Coherence クラスタの監視に対する画期的な強化機能を搭載することでクラスタのオーバーヘッドを3分の1に削減し、より迅速に問題を識別し解決できるようになったことを発表しました。

SL 社の Oracle Coherence モニタで利用できる新しいカスタム MBean により、標準の JMX MBean の収集プロセスにまつわるオーバーヘッドを劇的に削減し、大規模な Oracle Coherence クラスタに対する監視間隔を 10 秒程までに加速します。監視がより効率的になったことは、すなわち、問題の探知、アラート通知、解決がより早くなり、重大なアプリケーションへのデータ・グリッドの問題の影響をさらに最小化できることを意味します。

□ プレス・リリースの詳細:

http://www.sl-j.co.jp/newsevents/pressrelease/2010/sl_j_press_100721_oc.shtml



iPad で稼働する RTView for APM | Oracle Coherence モニタ (録画デモ)

<http://www.sl-j.co.jp/demovideo/ertv/ocmipad/ocmipad.html>
(ビデオ再生には Windows Media Player 11 が必要です。)

オフィス移転しました

SL ジャパンは、株主であるセント・ジュード・メディカルのエイベックスビルから汐留シティーセンターへの移転に伴い、設立当初から十数年おりましたエイベックスビルすぐ近くの新しいデザインビルに引っ越しました。

皆さまのご支援とご理解をいただき、2010年8月23日より新オフィスにて営業を開始しております。

今後とも、卓越した技術とチームワークで皆様のご期待に沿えるよう、米国 SL 本社とともになお一層努力して参りますので、倍旧のご支援ご鞭撻を賜りますよう、ひとえにお願い申し上げます。

★新住所: 〒107-0062 (郵便番号は同じです) 東京都港区南青山 3-8-5 **アーバンプレム南青山 3 階**
地図: http://www.sl-j.co.jp/aboutsljapan/info_slj_urbanprem.shtml#map

★電話番号ならびにファックス番号は従来どおりで変更ございません。



有名建築家永山祐子氏設計の業界で話題のデザインビルです。

Real-Time Visibility

年3回発行 2010年9月22日発行 通巻37号



株式会社 SL ジャパン

〒107-0062 東京都港区南青山3-8-5 アーバンプレム南青山 3階
Tel. 03-3423-6051 info@sl-j.co.jp www.sl-j.co.jp

◆記載される会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。
◆記載内容は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。
◆記載事項の一部または全部の無断転載を禁じます。